

塩川高敏君（65 期）回顧展の開催

上原 昇（65 期）

佐久市立近代美術館（佐久市猿久保）で「佐久地域ゆかりの作家 塩川高敏」展が開催中です。（9 月 13 日から 11 月 3 日まで）

塩川君は小諸市生まれ、佐久市岩村田で育ち、上田高校 65 期（美術班所属）卒、東京藝大に入学、同大院（油画専攻）を修了。2000 年から亡くなる 2017 年まで尾道市立大学で教鞭をとり、2011 年から同大学副学長を務めています。

本展覧会の開催にあたっては、65 期の美術班 OB が事前取材の協力をしたこともあり、開催初日（9 月 13 日）に、同期での鑑賞会を行いました。

当日は各地から同期 13 名が集まり、当館館長の小山雅比古さん（67 期）の御挨拶をいただいた後、当展の担当学芸員、由井はる奈さんの案内と説明でじっくりと鑑賞することができました。

3 フロアーを使っの展覧会は、作家の小学校時代から晩年までの作品、約 80 点が時系列に分かりやすく展示されています。

https://www.city.saku.nagano.jp/museum/special exhibitions/shiokawa_exhibition.html

会場には塩川君の奥様も来館していて、故人の思い出話を交わすこともできました。鑑賞会が終ったあとは、近くのホテルに移動して、同期懇親会となり、こちらも大盛会となりました。

同窓生の皆さんも、高校と故郷ゆかりの作家の展覧会に、是非、足をお運びください。佐久平駅で下車して、駅の外へ出ると、階段の上には塩川高敏展の大きな横断幕が目に入り、地元での盛り上がりを感じました。

10 月 18 日（土）には、尾道市立大学教授の小野環さんの講演会「画家・教育者 塩川高敏水と空気・理想と現実のはざままで」が開催されます。（@同美術館視聴覚室）



(『浮游- '17』前で集合写真)



(学芸員の由井さんの説明を聞きながら鑑賞)
(2025 年 9 月 15 日記)

以上